

2025 年 11 月 19 日

各位

みさき投資株式会社
代表取締役 中神 康議

新経営体制への移行に関するお知らせ

当社は、中神康議を会長、麻生武男を代表取締役とする新経営体制への移行プロセスを開始したことをお知らせいたします。

新経営体制（予定）

	現体制	新体制
中神康議	代表取締役 CEO	会長
麻生武男	取締役 CIO	代表取締役 CEO 兼 CIO

上記新経営体制への移行は、2026 年 2 月を予定しています。なお、移行プロセスの第一歩として、麻生武男は 10 月 20 日に共同 CEO に就任しています。

新経営体制への移行について

1. 経営体制移行の背景

当社は 2013 年の創業以来、『働く株主®』モデルによって、経営のほんとうの力を解き放ち、日本のフルポテンシャル実現に貢献する」という設立理念のもと、独自のエンゲージメント投資で事業を推進してまいりました。

この間、日本のコーポレートガバナンス改革は大きく進み、企業経営者の意識が高まり、取締役会の構成にも大きな変化が見られました。しかしながら、ガバナンスを「形式的」に整えるにとどまり、「実質的」な変革にまで至っていない企業は、依然として数多く存在します。こういった企業に変革を促すためには、社長のみならず、取締役会を含めた経営組織全体に対して、多面的かつ複数接点での働きかけが、より重要になっていきます。

当社は、このような環境認識のもと、創業者が力強く牽引する「キーマンシップ型組織」から、エンゲージメント投資チームメンバーが主導する「パートナーシップ型組織」へ移行することを決定しました。この移行によって、当社が築いてきた独自のエンゲージメントアプローチを更に深化させ、企業の改革を後押しし、日本の株式市場の発展に貢献していきます。

2. 新旧 CEO のコメント

<代表取締役 中神 康議>

日本に「売り買いする株主」や「物言う株主」とは異なる「新しい株主モデル」をつくり上げたいと

考え、2013年に当社を設立しました。以来、10年以上の長きにわたり、経営者とともに汗をかき、「働く」ことで企業進化を応援してきた結果、当時はそのような言葉もなかった「エンゲージメント投資」の礎を築くことができたと感じております。

今現在はコーポレートガバナンス改革の後押しもあり、企業改革の波が、より広く多くの上場企業へ波及し始めています。まさに「山が動く」この局面で事業機会を確実に捉えるため、創業者による牽引とは異なるリーダーシップによって、新たな成長フェーズへと組織を進化させることが必要と判断しました。麻生氏は、20年以上にわたり、国際的な運用機関で国籍・人種が入り混じるチームを率いた経験があり、当社の「パートナーシップ型組織」への移行を委ねるのに最も適した人物と考えています。

2月以降、私は、社会的ネットワークや公的活動で得た知見を活かしながら、会長として、新生みさき投資を支えていく予定です。

<取締役 麻生 武男>

2019年にCIOとして当社に参画して以来、投資先企業の変革と投資家の皆さまの信頼に支えられ、エンゲージメント投資の可能性の大きさを実感してきました。

新体制では、設立理念を確固たる拠り所としつつ、新たに大きく広がる事業機会を確実に捉えるために「パートナーシップ型組織」への移行を一層加速させ、メンバー一人ひとりがオーナーシップを持ち、専門性を発揮できる環境をつくります。

引き続き、投資家の皆さまのご期待に応えるべく、チームの総力を結集し、日本の株式市場の発展に資する成果を着実に積み上げていきます。

以上